

第34回通常総代会議案書ダイジェスト

第34回通常総代会

日時 2023年6月13日(火)
10:30~13:00会場 京成ホテルミラマール
6F ローズルーム

も く じ

ごあいさつ.....	1	第3号議案 定款変更の件.....	4	第6号議案 役員退職金支給の件.....	4
第1号議案 2022年度事業活動報告書・ 決算関係書類等承認の件.....	1	第4号議案 第17期役員選任の件.....	4	報告 「みなし自由脱退の手続きについて」...	4
第2号議案 2023年度事業活動方針・計画、予算 決定の件.....	3	第5号議案 理事報酬決定の件.....	4	理事・監事一覧.....	4

ごあいさつ

第34回通常総代会開催にあたって

生活協同組合パルシステム千葉
代表理事 理事長 佐々木 博子

昨年は食料品をはじめとする生活必需品やエネルギー価格などが上昇し、消費者として非常に厳しい年でした。このような状況の中、少しでも家庭でできることとして食品ロス削減や省エネなどの特集を組み、組合員が自ら実践してきたことを共有してきました。環境・エネルギー問題はこれからも続いていく長期的な課題として、「環境・エネルギー政策」をパルシステムグループで策定して、進むべき方向性が打ち出されました。昨年からはじめた「もったい明日へ 超えてく」アクションでも食中心の取り組みを超え、環境、地域福祉、平和などパルシステムの取り組みを包括した内容に広がっています。また、食の面では農業が持つ多面的な価値をもっと知ってもらうためにお米を基

軸に様々な参加の場を設けていますし、生産者との交流も以前のような顔と顔を合わせる企画が増えています。次の世代も食べ続けられる作り続けられる関係でいられるよう、心の通った交流にぜひ、ご参加ください。

事業につきましては総事業高で前年に対して減収減益ですが、剰余は予算達成となりました。緊急事態宣言などの行動制限が出されることもなく巣ごもり需要も一段落して、以前の生活に戻りつつある中、主力事業である無店舗事業を軸に商品の持つ価値や組合員活動に触れる機会を増やしパルシステム千葉のファンを増やしていければと考えています。一方で、事業構造改革は継続して取り組み、損益改善に努めてまいります。

今年の総代会では役員改選が議案の1つです。新たに役員になれる方が入ることにより、今までと違った視点を取り入れて事業や活動に幅や深みが出てくることを期待します。役員選出に限ったことではなく、生協運営全般が民主的で透明性のある組織であるよう、役員一同、気持ちを引き締めて取り組んでまいりますので、本年度もどうぞよろしく願いいたします。

第1号議案 2022年度事業活動報告書・決算関係書類等承認の件

2022年度 事業・活動まとめ、損益状況

1. 2022年度方針基調

- (1) コロナ禍で積み上げた新たな組合員参加・参画の工夫、実践を踏まえ、実参加とオンラインを組み合わせ、組合員活動、総代活動における参加感、充実感を高めます。
- (2) パルシステムの商品政策に基づき、食の安全・安心の取り組みを産直・商品活動、学習会等を通して推進し、組合員の共感を広げます。
- (3) 平和・貧困問題、環境・エネルギー問題等、コミュニティ政策に基づく取り組みを組合員とともに推進します。また他団体と連携し生活困窮者支援をより充実させ、引き続き誰一人取り残さない社会、地域づくりを進めます。
- (4) 組合員へのより良いサービス、事業の効率化を目的に、デジタル化に向けた改善・改革課題を計画的に推進します。
- (5) 総事業高 360 億円 (2021 年度比 101.3%)、経常剰余金 4.8 億円、(経常剰余率 1.3%) を計画します。事業別成長戦略に基づく到達点評価と課題を踏まえ、引き続き事業構造改革を推進します。
- (6) パルシステム職員像^(※1)を実践できる人づくり、管理監督職の育成強化、人事諸制度の運用改善、マネジメント強化を総合的に捉え推進します。また、障がい者雇用、ユニバーサル就労をさらに広げます。
※1パルシステム職員像：組合員の思いを受け止め、自らの行動に責任と誇りを持ち、挑戦し続ける職員。
- (7) 新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、自然災害発生時の適切かつ迅速な対応に備えます。またすべての事業活動で安全運転、コンプライアンスに立脚した業務運営を推進します。

2. 2022 年度方針基調の総括

(1) 組合員活動は、オンライン企画の充実を図るとともに、6月より実参加を再開し、コロナ禍でも安心して参加できる運営を心掛けました。各センター主催の『パルシステムのつどい』は、食や商品を中心に、組合員の関心が高い環境や健康、様々なくらし課題（貧困問題、防災など）をテーマに取り上げ、多くの組合員が参加しました。2023年1月からは実参加企画の調理・試食を再開しました。



パルシステムのつどい

(2) 産直交流は、県内産地を中心に実参加・オンラインで多くの組合員と家族が参加しました。商品展示会は3年ぶりに実開催し、生産者やメーカーとのリアルな交流を通じて商品のこだわりや新運動「もっといい明日へ 超えてく」^(※2)を伝えました。食の安全学習会『Zoomで学ぼう！わたしのたべもの』は4回開催し、ゲノム編集、遺伝子組換え表示、セットセンター等について学びパルシステム商品への理解を深めました。

※2これまでの『「ほんもの実感！」くらしづくりアクション』から、新運動「もっといい明日へ 超えてく」としてサステナブルな未来に向かい組合員とともに取り組んでいきます。

<「もっといい明日へ 超えてく」
5つの超えてく>

- ① 安全安心で、超えてく
- ② ジェンダーフリーで、超えてく
- ③ 交流で、超えてく
- ④ くらし方で、超えてく
- ⑤ 協同で、超えてく



商品展示会

(3) 平和・貧困への取り組みは、平和について家族で考えるきっかけとなる企画の実施、地域の団体と連携した食料支援の実施、学ぶ意欲があっても経済的に進学が難しい若者に向けて給付型奨学金募金等を行いました。

環境の取り組みは、パルシステムのつどいにおいて

親子対象の環境企画や石けん企画の実施や、うちエコ診断を推進することで組合員に広く認知してもらえ、取り組みを推進しました。また、温室効果ガスの削減に向けたパルシステムグループ全体での議論を行い、新環境・エネルギー政策として制定し、アクションプランを策定しました。



環境企画

(4) 2022年8月より「パルシステムアプリ」がリリースされました。組合員とパルシステムとの様々なデジタル基盤（プラットフォーム）を構築するために、今後も組合員の意見を反映してアップデートしていきます。日常業務におけるデジタル化の推進として、学習会の実施や事業所における業務を精査し、一部業務のIT化の運用を始めました。



パルシステムアプリ

(5) 総事業高355.0億円（前年比99.6%、予算比98.3%）、経常剰余金6.2億円（前年比93.1%、予算比129.7%）となり前年に対して減収減益となりました。供給高は外的要因の影響から買い控えなどが進み落ち込みました。仲間づくりは人員不足で苦戦しましたが、一定の成果を上げることができました。

(6) 教育研修はパルシステムグループで行う研修とパルシステム千葉が独自で企画する研修を実施しました。若手職員や入協年次別の研修、管理者向け研修、女性職員対象の研修など、人材育成を目的に幅広く実施しました。

人事評価制度は、監督職の目標に業務改善提案を組み入れ、改善に向けて実行する仕組みを作り、管理者がマネジメントする運用を推進しました。障がい者雇用とユニバーサル就労は、2022年度はジョブコーチを2名体制とし、さらにセンター長と店長がジョブサポーター養成講座を受講し支援体制を整え、より一層安心して働けるように環境づくりを進めました。



女性職員研修

- (7) 新型コロナウイルス感染防止対策はマスク着用、定時消毒作業、効果的な換気などの基本的な対策を徹底、継続して実施しながら世の中での感染状況を踏まえた対応となるよう柔軟に判断し組織内への周知、徹底を図りました。安全運転の取り組みでは前年より事故件数を12件削減しました。引き続き事業活動を推進する上で安全運転を第一とし、すべての業務における法令順守と健全な運営を推進していきます。



安全運転研修

3. 2022年度の損益状況

損益状況

(単位：千円)

	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	前年比	予算比	前年増減
総事業高	35,632,679	36,081,622	35,503,898	99.6%	98.3%	△128,780
供給高	34,514,341	34,793,990	34,294,711	99.3%	98.5%	△219,629
事業総剰余金	9,061,438	9,231,692	9,054,197	99.9%	98.0%	△7,240
事業経費	8,468,545	8,894,654	8,576,664	101.2%	96.4%	108,119
経常剰余金	668,938	480,090	622,747	93.1%	129.7%	△46,190
特別利益	-	-	44	-	-	44
特別損失	20,448	-	18,273	89.3%	-	△2,175
税引前当期剰余金	648,489	480,090	604,518	93.2%	125.9%	△43,970
法人税等	120,366	-	151,652	125.9%	-	31,286
法人税等調整額	26,747	-	△6,382	-	-	△33,130
当期剰余金	501,376	-	459,248	91.5%	-	△42,127
当期首繰越剰余金	93,028	-	66,550	71.5%	-	△26,478
任意積立金取崩額	904,037	-	49,644	5.4%	-	△854,392
当期末処分剰余金	1,504,253	-	575,443	38.2%	-	△928,810

第2号議案

2023年度事業活動方針・計画、予算決定の件

2023年度 方針、予算案

1. 2023年度方針基調

- (1) 組合員の参加・参画は、実参加、オンラインを組み合わせながら、企画の充実や参加しやすい環境整備を工夫します。総代活動も総代の役割発揮に向けた学習会やくらしトーク・トークへの参加、総代会への実出席率を高めていきます。
- (2) パルシステムの商品政策を広く組合員に理解してもらうために、食の安全・安心の取り組みをより充実させ、産直・商品活動、学習会等を通して推進し、組合員の共感を広げます。
- (3) コミュニティ政策に基づき、平和・貧困問題、環境・エネルギー問題等、昨今の情勢および継続課題を踏まえて具体的な取り組みにつなげます。また政策の推進にあたっては他団体とも有効な連携を図り諸課題の解決に取り組んでいきます。
- (4) 無店舗事業を中心に、店舗事業、夕食宅配事業、家事支援事業、介護事業は、事業ごとの特性を踏まえた利用しやすい環境整備の追求、事業別成長戦略に基づく到達点と課題を踏まえ、引き続き事業構造改革を推進します。総事業高は358.0億円(2022年度比100.8%)、経常剰余金5.2億円(経常剰余率1.47%)を計画します。
- (5) 一人ひとりの職員がパルシステム職員像を実践し、働くことにやりがいと誇りを持てる環境づくりを推進していきます。教育研修プログラム、管理職のマネジメント力、人事評価制度の効果的運用を総合的に捉え強化していきます。また障がい者雇用、ユニバーサル就労をさらに広げ、就労者のフォローやサポートを充実させます。
- (6) ウイズコロナを念頭に感染防止対策は継続します。自然災害発生時の適切かつ迅速な対応に備えるとともに、すべての事業・活動の現場で労働安全衛生、安全運転、コンプライアンスに立脚した業務運営を推進します。

2. 2023 年度予算案

損益予算案

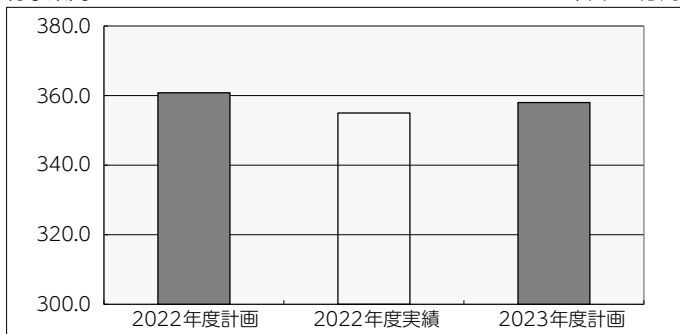
(単位：千円)

勘定科目	2022 年度実績	2023 年度予算	前年実績比
総事業高	35,503,898	35,802,918	100.8%
供給高	34,294,711	34,473,273	100.5%
供給剰余金	8,184,047	8,245,318	100.7%
福祉事業収入	235,249	345,495	146.9%
福祉事業費用	339,036	359,376	106.0%
福祉剰余金	△ 103,787	△ 13,881	-
その他事業収入	973,936	984,150	101.0%
事業総剰余金	9,054,197	9,215,587	101.8%
人件費	2,129,237	2,185,619	102.6%
物件費	4,346,254	4,388,022	101.0%
分担費	2,101,173	2,197,465	104.6%
事業経費	8,576,664	8,771,106	102.3%
事業剰余金	477,532	444,481	93.1%
事業外収益	150,131	84,101	56.0%
事業外費用	4,916	1,026	20.9%
経常剰余金	622,747	527,556	84.7%

〈参考〉損益データグラフ

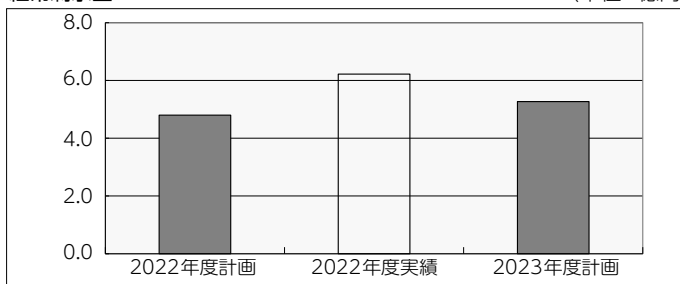
総事業高

(単位：億円)



経常剰余金

(単位：億円)



第 3 号議案 定款変更の件

定款の一部を変更することを提案します。

第 4 号議案 第 17 期役員選任の件

第 16 期役員の任期満了により、定款第 19 条および役員選任規約に基づき、2023 年 6 月 13 日の第 34 回通常総代会にて、役員候補者（理事 19 名、監事 5 名）を第 17 期役員として選任することを提案します。

* 詳細は「議案書③・第 17 期役員選任の件」をご覧ください。

第 5 号議案 理事報酬決定の件

2023 年度の理事報酬について、8,200 万円（理事 19 名の総額）を上限に支給することを提案します。

第 6 号議案 役員退職金支給の件

第 16 期役員のうち、退任する理事 7 名、監事 1 名に対し、当生協の役員退職金規程に基づき、役員退職金を支給します。

※なお、全議案の内容詳細については、パルシステム千葉のホームページよりご覧いただけます。

こちらの二次元コードから
もご確認ください



議案書①・本冊



議案書②・分冊



議案書③・第17期役員選任の件

●報告

「みなし自由脱退の手続きについて」

パルシステム千葉では消費生活協同組合法及び模範定款例に沿って、2020 年度から所在が確認できなかった組合員 2,158 名を自由脱退とみなして 2023 年 3 月末に手続きしました。

第 16 期 理事・監事一覧

代表理事 理事長 佐々木 博子

代表理事 専務理事 新村 里志

常務理事 平 健三

理事 石山 明子／井上 郷／江尻 康代／

岡本 志緒子／齋藤 和博

理事 佐藤 尚子／神野 和江／高橋 由美子／

津田 しのぶ／富田 千鶴／仲野 智美／

中村 真紀／藤 晶子／村上 佳代子／

山本 香美

監事 太田 藝子／加戸 祐爾／加藤 博美／

柴崎 菊恵／相馬 由起子

生活協同組合パルシステム千葉 本部 〒 273-0005 船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 (4F)
TEL 047-420-2600 (代表) FAX 047-420-2400 <https://www.palsystem-chiba.coop/>